

「神話のふるさと県民大学」開催の目的

これまで記紀編さん1300年事業によって、みやぎの神話や伝承、神楽などさまざまな魅力が掘り起こされてきました。これらの文化資源は、県民の財産です。
大切な宝をみなさまと共有するために、「知る・学ぶ・触れる」機会の場として、「神話のふるさと県民大学」を開催します。
宮崎県が「神話のふるさと」である理由や意義を改めてご理解いただき、次世代へと語り継ぐ基盤づくりとして、県民のみなさまに寄り添った講座として開催してまいります。

会 場 一 覧 ※駐車場に限りがありますので、公共交通機関のご利用に御協力ください。

講 座	開催日	講座会場	定 員	締切日
リレー講座	令和7年 9/20(土)	宮崎県防災庁舎71～72号室 (宮崎市橋通東2丁目10-1)	120名	令和7年 9/12(金)
	11/30(日)	宮崎県防災庁舎6階 (宮崎市橋通東2丁目10-1)	100名	11/21(金)
	12/13(土)	宮崎県防災庁舎71～72号室 (宮崎市橋通東2丁目10-1)	120名	12/5(金)
神楽学フォーラム	令和8年 1/31(土)	宮崎県企業局県電ホール (宮崎市旭1丁目2-2)	90名	令和8年 1/23(金)

1回だけの参加も
大歓迎！

神話のふるさと県民大学 お申し込み方法について

【電話・FAX】……………

担当者が対応いたします。ご希望の開催日・参加希望者名(2名まで)・郵便番号・住所・電話番号をお伝えください。

電話 番号 0985-22-1122

[月～金] 10:00～17:00

※祝日を除く

FAX 番号 0985-22-1128

「神話のふるさと県民大学受講希望」と明記し、開催日・参加希望者名(2名まで)・郵便番号・住所・電話番号・FAX番号をご記入の上、お申し込みください。なお、複数の会場をお申し込みの場合は、それぞれの開催日ごとの参加希望者がわかるよう明記してください。

【インターネット】……………

応募フォームより参加希望者名(2名まで)・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスをご入力の上、お申し込みください。なお、複数の回をお申し込みの場合は、受講希望の開催日を複数選択してお申し込みください。

携帯・スマートフォンからも、ご応募できます。



ホームページ <https://www.umkag.com/events/shinwa/>

【応募締切】 講座ごとに締切日がございます。詳しくは、上記「講座一覧」をご覧ください。※先着順

【当選通知】 いずれの方法でお申し込みいただきましても、当選者には、聴講券を送付いたします。当日は、聴講券を必ずご持参ください。

お問い合わせ先

株式会社UMKエージェンシー内「神話のふるさと県民大学」事務局
TEL.0985-22-1122 FAX.0985-22-1128

県民大学 神話の ふるさと

13th
SHINWA NO
FURUSATO
KENMIN
DAIGAKU

神を感じて、
人は躍動する。

宮崎県立看護大学との連携講座です 令和7年9月20日(土)から全4回

- 県内外の多彩な講師陣によるリレー講座を実施
- 多様な視点で神楽をひも解く神楽学フォーラム



参加
無料

「神話」を聞く・学ぶ・楽しむ。

神話のふるさと県民大学 記紀関連県民講座

深める

神話の源流を学ぶ

日時 令和7年9月20日(土) 13:30～16:30

会場 宮崎県防災庁舎71～72号室

定員120名

宮崎がなぜ「神話の源流」であるのか、講師とともに紐解いていきます。



宮崎県立看護大学 教授 **大館 真晴** 氏

都城市生まれ。國學院大學大学院文学研究科博士課程後期修了、博士(文学)。奈良県立万葉文化館研究協力員。古事記学会理事。主な著書に『日本書紀の作品論的研究—人物造形のあり方を中心に—』(國學院大學大学院研究叢書)、『日本書紀【歌】全注釈』(共著、笠間書院)、『日本書紀と古代天皇の謎』(共著、KADOKAWA)『神話の源流をたどる 記紀神話と日向』(上野誠・大館真晴編著、KADOKAWA)など。



埼玉大学 教授 **飯泉 健司** 氏

1962年東京都渋谷区代々木山谷町生。埼玉大学教授。國學院大學・同大学院修了。博士(文学)。立正大学助手を経て現職。古代文学を民俗学的に研究する。著書に『播磨国風土記の研究』『風土記の方法』『王権と民の文学』『文学に旅する』『古事記全講義』『播磨国風土記を読み解く』。



二松学舎大学 教授 **塩沢 一平** 氏

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。上代和歌、歌謡、歌謡曲・J-POPまで、日本の歌を総合的に研究。特に古代に詠唱される歌と熱狂する人々、現代のアーティスト三浦大知とのファンの関係まで、歌の魅力を探る。『万葉歌人田辺福麻呂』(笠間書院)、『大伴家持 都と越中でひらく歌学』(花鳥社)などがある。

楽しむ

古代を楽しむ

日時 令和7年11月30日(日) 13:30～16:00

会場 宮崎県防災庁舎6階

定員100名

万葉歌の言葉や世界を、講師の軽快なトークとともに思い切り楽しめます。



國學院大學 教授 **上野 誠** 氏

國學院大學大学院文学研究科博士課程修了。万葉文化論を標榜し、ユニークな視点とソフトな語り口で人気上昇中の若手万葉研究者。MBSラジオ他多数のメディアに出演し、『万葉集』を学ぶことの楽しさを多くの人がとに伝えている。『万葉学者、墓をしまい母を送る』(講談社)で第68回日本エッセイスト・クラブ賞など受賞。



フリーアナウンサー **坂井 淳子** 氏

昭和36年福岡県柳川市生まれ。筑紫女学園卒業後、昭和59年エフエム宮崎開局に際し第一期アナウンサーとして来県。平成元年、結婚を機に退職。以降フリーとして活動を開始。現在はMRTラジオ『GOGOワイド』水・木・金担当や『人生百年、今から始める終活の時間』(土曜日)を担当。また、司会、ナレーション等を始め、話し方や楽しみながらの終活を中心とした講座を通して、たくさんの方々とのコミュニケーションをとりながら、日々活動している。

楽しむ

出雲神話の魅力～神と山との関わりについて～

日時 令和7年12月13日(土) 14:30～17:00

会場 宮崎県防災庁舎71～72号室

定員120名

日本の成り立ちや神々の関係を描いた出雲神話の魅力を講師とともに学びます。



お茶の水女子大学 名誉教授 **荻原 千鶴** 氏

長野県上田市生まれ。お茶の水女子大学大学院博士課程修了。同大学教授等を経て名誉教授。博士(人文科学)。主な著書に『日本古代の神話と文学』(塙書房)、『出雲国風土記』(講談社)、主な論文に「九州風土記と『出雲国風土記』」(『古事記年報』57)、「大伴旅人考」(『萬葉集研究』37)など。島根県奥出雲町の特別顧問も務める。



出雲大社 権宮司 **千家 和比古** 氏

島根県出雲市生まれ。國學院大學大学院文学研究科(日本史学考古学専攻)修士課程修了。國學院高等学校教諭を経て、昭和60年から出雲大社奉職。主な共著書に『上総山王山古墳』、『日本玉作大観』、『古代を考える出雲』、『古代出雲と風土記世界』、『伊勢と出雲の神々』、『出雲大社』など、論稿に「出雲大社の、いわゆる神仏習合を伝える絵図の検討」など。



MRT宮崎放送 アナウンサー **川島 恵** 氏

島根県大田市で生まれ、その後高校卒業まで松江市で過ごし、小学校低学年の頃には、地元大田市の地区行事で神楽「八岐大蛇(ヤマタノオロチ)」を舞うなど、神話の世界を身近に感じながら過ごしてきました。神話のふるさと「宮崎」と、ご縁の国「しまね」のつながりを、取材等を通して感じながら情報発信しています。

「神楽」を感じる・考える・伝える。

深める

神楽学フォーラム「『神楽歌』を知り、習う」

日時 令和8年1月31日(土) 13:30～16:30

会場 企業局県電ホール

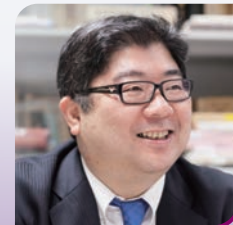
定員90名

神楽歌の歴史や意味を知り、実演を通して神楽への理解を深めていきます。



國學院大學 名誉教授 **小川 直之** 氏

専門は「民俗学」。文部科学省文化審議会専門委員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。現在は、宮崎県のみやぎの神楽魅力発信委員会委員長として、みやぎの神楽の保存継承や魅力発信に携わる。独立行政法人日本芸術文化振興会評議員や南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザー、中国の南開大学客員教授などを務める。



宮崎県立看護大学 教授 **大館 真晴** 氏

パネリスト

神楽研究者および神楽歌を伝承している方々

WEBでの動画配信 ご案内

講座は、YouTubeで配信ご視聴いただけます。(講座終了4日後から令和8年3月31日(火)まで)



YouTubeチャンネル
「神話のふるさと宮崎」にて配信



- 講座の映像、発言など配信される情報には著作権が生じます。法律上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。
- インターネット回線の状況や視聴側のPC環境により、映像が途切れたり停止したりするなど正常に視聴できないことがあります。

漫画 日向神話全3巻 好評配信中!!

宮崎県は、『古事記』や『日本書紀』に描かれた日本発祥の物語の舞台とされ、各地に神話や伝承、ゆかりの地が数多く残されています。

県では、多くの県民に日向神話に親しんでもらうことを目的に、日向神話の漫画本を制作しています。漫画は県内の公立の図書館で閲覧できるほか、宮崎県公式観光サイト「みやぎ観光ナビ」でも無料で閲覧できます。

【みやぎ観光ナビ】

<https://www.kanko-miyazaki.jp/shinwanofurusato/pamphlet>



閲覧無料



13th
SHINWA NO
FURUSATO
KENMIN
DAIGAKU